

2024年9月12日

学修時間および授業満足度の実態把握 に関する報告書

2024年度春学期

清泉女学院大学看護学部
教務委員会

目的

- 清泉女学院大学看護学部の授業科目における学修実態および授業満足度の実態を把握する。
- 本学の教学マネジメント体制における、教育課程の編成に関する全学的な方針の検討への基礎データとして活用すること。

調査概要 (1)

■ 調査時期

- 2024年7月

■ 調査対象

- 清泉女学院大学看護学部生を対象とした。
- 分析対象としたのは、2024年度春学期に開講した科目のうち61科目。内訳は次ページのとおりである。

調査概要 (2)

表1 分析対象科目

学年		講義	演習	実習	計
		(内訳)	(内訳)	(内訳)	(内訳)
1年次	共通教育	4	5	0	9
	専門教育	7	1	0	8
	基礎	(5)	(0)	(0)	(5)
	基盤	(1)	(1)	(0)	(2)
	教職	(1)	(0)	(0)	(1)
2年次	専門教育	15	3	1	19
	基礎	(2)	(0)	(0)	(2)
	基盤	(2)	(1)	(1)	(4)
	教職	(1)	(0)	(0)	(1)
	実践	(4)	(1)	(0)	(5)
	総合	(6)	(1)	(0)	(7)
3年次	専門教育	7	10	0	17
	基礎	(3)	(0)	(0)	(3)
	基盤	(0)	(2)	(0)	(2)
	教職	(1)	(0)	(0)	(1)
	実践	(0)	(4)	(0)	(4)
	総合	(3)	(4)	(0)	(7)
4年次	専門教育	1	7	0	8
	基盤	(1)	(1)	(0)	(2)
	総合	(0)	(6)	(0)	(6)
総計		34	26	1	61

* 共通教育科目の受講者には看護学部および人間学部の学生が含まれている。

調査概要 (3)

■ 調査方法

- 授業改善の一環として各授業において行われている「授業改善アンケート」における項目として学修時間を調査した。アンケートは無記名アンケート方式で行った。

■ 調査項目：(学修時間と学習行動について)

Q2 毎回平均してどのくらいこの授業の予習復習を行いましたか？

- 1 : 0時間
- 2 : 30分程度
- 3 : 1時間程度
- 4 : 1時間半程度
- 5 : 2時間以上

■ 分析方法

- 各選択肢の間隔は30分であり均等であるため、間隔尺度として用いた。また、1を「0分」、2を「30分」と学修時間の推計量として用いた。

学修時間の記述統計(全体)

- 学年ごとの学修時間の平均値は1年生2.64（推定49.2分）、2年生2.79、（推定53.3分）3年生3.36（推定72.5分）、4年生4.73（推定111.9分）であり、学年が進むにつれて学修時間が長くなる傾向であった。
- 最も学修時間が長かったのは、4年生の演習で4.77（推定113.1分）であり、2時間近くの学修を行っていた。
- 全体的に回答率が低く、また授業毎の回答率にもばらつきがあるため、それをふまえて考察する必要がある。

表2 看護学部全体の平均学修時間

学年	講義		演習		実習			全体	
	M (SD)	科目数	M (SD)	科目数	M (SD)	科目数	M (SD)	科目数	
1年次	2.52 (.30)	11	2.85 (.68)	6			2.64 (.49)	17	
2年次	2.71 (.36)	15	2.57 (.52)	3	4.64	— 1	2.79 (.58)	19	
3年次	3.05 (.69)	7	3.58 (.50)	10			3.36 (.64)	17	
4年次	4.48 (.00)	1	4.77 (.27)	7			4.73 (.27)	8	
総計	2.77 (.55)	34	3.62 (.93)	26	4.64	— 1	3.16 (.87)	61	

1：0時間、2：30分程度、3：1時間程度、4：1時間半程度、5：2時間以上

学修時間の記述統計(1年次 共通教育と専門科目)

- 1年次の共通教育科目における学修時間の平均値は2.45（推定43.4分）、専門教育科目の学修時間の平均値は2.86（推定55.7分）であり、共通教育科目と専門教育科目の間に差がなかった。

表3 共通教育科目と専門科目の学修時間

学年	共通教育科目		専門教育科目	
	M (SD)	科目数	M (SD)	科目数
1年次	2.45 (.28)	9	2.86 (.59)	8

1：0時間、2：30分程度、3：1時間程度、4：1時間半程度、5：2時間以上

学修時間の記述統計(年度比較 共通教育と専門科目)

- 2022年度までの学生は、共通教育科目と専門教育科目の学修時間はほぼ同じであるが、2023年度生は専門教育科目の学修時間が共通教育科目に比べて長くなった。新カリキュラムになり、1年次の専門教育科目が増えたことも要因の一つであると考えられる。

表4 1年生の学修時間の比較(2019年度～)

年度	共通教育科目		専門教育科目	
	M (SD)	科目数	M (SD)	科目数
2019年度	2.25 (1.12)	14	2.15 (.81)	6
2020年度	2.87 (1.13)	13	2.84 (1.03)	6
2021年度	2.21 (.98)	11	2.34 (.92)	7
2022年度	2.67 (.69)	13	2.80 (.36)	5
2023年度	2.44 (.43)	13	2.81 (.51)	10
2024年度	2.45 (.28)	9	2.86 (.59)	8

1：0時間、2：30分程度、3：1時間程度、4：1時間半程度、5：2時間以上

学修時間の記述統計(年度比較 講義形態別)

- 年度毎にばらつきは見られるが、どの年度においても実習科目にかける学修時間が長い。
- 2023、2024年度生の演習にかける学修時間が長い。新カリキュラムで演習科目が増加したことも要因であると考ええる。

表5 1年生の学修時間の比較 (2019年度～)

年度	講義		演習		実習		全体	
	M (SD)	科目数	M (SD)	科目数	M (SD)	科目数	M (SD)	科目数
2019年度	2.22 (.99)	16	1.91 (.89)	3	2.69 —	1	2.21 (1.00)	20
2020年度	2.83 (1.08)	15	2.74 (1.00)	3	3.52 —	1	2.86 (1.09)	19
2021年度	2.30 (.96)	15	2.05 (.79)	2	2.75 —	1	2.27 (.95)	18
2022年度	2.70 (.60)	14	2.48 (.17)	3	3.89 —	1	2.73 (.61)	18
2023年度	2.45 (.38)	15	2.76 (.51)	7	3.74 —	1	2.60 (.50)	23
2024年度	2.52 (.30)	11	2.85 (.68)	6			2.64 (.49)	17

1：0時間、2：30分程度、3：1時間程度、4：1時間半程度、5：2時間以上

予習・復習の実施状況

- 1～3年生は復習に重点を置く傾向がみられた。2年生の実習、および3年生の演習においては、予習・復習の両方を重視していた結果となった。
- 4年生については、講義、演習ともに予習・復習の両方を重視していた結果となった。

表6 看護学部全体の予復習の状況

		両方	予習	復習	どちらもあまり やらなかった	やらなかった
1年次	講義	17.7%	3.6%	69.0%	8.0%	1.7%
	実習	38.3%	12.0%	44.9%	4.1%	0.7%
2年次	講義	33.3%	10.3%	48.9%	6.6%	0.9%
	演習	18.7%	26.2%	53.3%	1.9%	0.0%
	実習	89.2%	4.3%	6.5%	0.0%	0.0%
3年次	講義	31.6%	5.8%	54.6%	6.8%	1.2%
	演習	46.2%	8.2%	43.1%	2.1%	0.5%
4年次	講義	59.4%	7.9%	32.7%	0.0%	0.0%
	演習	84.0%	16.0%	0.0%	0.0%	0.0%

授業満足度の記述統計(全体)

- 授業満足度は、1年生4.54、2年生4.81、3年生4.67、4年生4.65と全体的に高い傾向であった。
- 特に、2年生の演習の満足度は4.90であり、非常に高かった。一方で、1年生の演習の満足度は4.28であり、他の学年に比べて低かった。
- 全体的に回答率が低く、また授業毎の回答率にもばらつきがあるため、それをふまえて考察する必要がある。

表7 看護学部全体の授業満足度

学年	講義			演習			実習			全体		
	M	(SD)	科目数									
1年次	4.68	(.13)	11	4.28	(.35)	6				4.54	(.30)	17
2年次	4.79	(.12)	15	4.90	(.11)	3	4.79	(.00)	1	4.81	(.12)	19
3年次	4.66	(.22)	7	4.68	(.25)	10				4.67	(.24)	17
4年次	4.20	(.00)	1	4.72	(.33)	7				4.65	(.35)	8
総計	4.71	(.18)	34	4.62	(.35)	26	4.79	(.00)	1	4.67	(.27)	61

授業満足度の記述統計(1年次 共通教育と専門科目)

- 1年次の共通教育科目における授業満足度の平均値は4.48、専門教育科目の授業満足度の平均値は4.61 であり、共通教育科目と専門教育科目の間に大きな差がなかった。

表8 1年生の共通教育科目と専門科目の授業満足度

年度	共通教育科目			専門教育科目		
	M	(SD)	科目数	M	(SD)	科目数
2024年度	4.48	(.38)	9	4.61	(.15)	8

授業満足度の記述統計(年度比較 共通教育と専門科目)

- 共通教育科目、専門教育科目とも授業満足度は高い傾向を示した。特に2023年度1年生は共通教育科目、専門教育科目ともに高い満足度を示した。

表9 1年生の共通教育科目と専門科目の授業満足度

年度	共通教育科目			専門教育科目		
	M	(SD)	科目数	M	(SD)	科目数
2019年度	4.55	(.70)	14	4.43	(.82)	6
2020年度	4.68	(.61)	13	4.71	(.50)	6
2021年度	4.60	(.75)	11	4.54	(.85)	7
2022年度	4.76	(.60)	13	4.70	(.71)	5
2023年度	4.78	(.13)	13	4.75	(.17)	10
2024年度	4.48	(.38)	9	4.61	(.15)	8

授業満足度の記述統計(年度比較 授業形態別)

- 毎年度、高い授業満足度を維持し、2022、2023年度1年生は講義、演習、実習ともに最も高い満足度を示した。
- 2024年生の演習の満足度が他の年度に比べて低い。授業毎の回答数にばらつきがあり、他の年度の比較することは難しいが、自由記載等からその理由を考える必要がある。

表10 1年生の授業満足度の比較(2019年度～)

年度	講義			演習			実習			全体		
	M	(SD)	科目数	M	(SD)	科目数	M	(SD)	科目数	M	(SD)	科目数
2019年度	4.49	(.77)	16	4.44	(.71)	3	4.61	—	1	4.49	(.76)	20
2020年度	4.66	(.60)	15	4.72	(.47)	3	4.86	—	1	4.69	(.56)	19
2021年度	4.55	(.82)	15	4.73	(.56)	2	4.25	—	1	4.57	(.80)	18
2022年度	4.71	(.69)	14	4.83	(.43)	3	4.82	—	1	4.74	(.65)	18
2023年度	4.77	(.16)	15	4.75	(.14)	7	4.79	—	1	4.77	(.15)	23
2024年度	4.68	(.13)	11	4.28	(.35)	6				4.54	(.30)	17